

---

# 全国高等専門学校 第20回プログラミングコンテスト 本選実施要項（参加要項）

---

この要項は、本選実施に関する重要なものです。本選に出席される関係者に至急お渡しください。

課題部門・自由部門・競技部門ともに9月9日（水）必着で提出いただきたい書類等がありますので、内容のすべてに必ず目を通してください。

また、本選時にはこの資料を必ずお持ちください。

全国高等専門学校 第20回プログラミングコンテスト委員会

全国高等専門学校 第20回プログラミングコンテスト  
本選実施要項（参加要項）

1. 大会全般についての連絡事項（各部門共通）	1
1. 1 主催・共催・後援・協賛・役員	1
1. 2 事務局	1
1. 3 参加者	2
1. 4 審査委員	2
1. 5 会場案内	3
1. 6 日程	4
1. 7 提出書類	5
[1] 9月9日（水）必着分	
[2] 受付時提出書類	
1. 8 知的所有権について	7
1. 9 表彰について	7
1. 10 学生交流企画について	7
1. 11 会場使用上の注意点について	7
1. 12 宿舎・昼食・学生交流会・指導教員懇親会および会場への交通	8
1. 13 問い合わせ先	9
1. 14 著作物等の扱いについて	9
1. 15 その他の注意事項	9
2. 課題・自由部門についての連絡事項	10
2. 1 システムの搬入・搬出について	10
2. 2 プレゼンテーションについて	10
2. 3 デモンストレーションについて	11
2. 4 本選審査手順について	12
3. 競技部門についての連絡事項	14
3. 1 組合せ	14
3. 2 競技進行の概要	14
3. 3 競技部門の賞	14
3. 4 予行演習	14
3. 5 注意事項	14
3. 6 質問受付	15
付録1 会場案内図	
付録2 交通案内	
付録3 課題部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル	
付録4 自由部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル	
付録5 ブースの配置と展示スペースの概略寸法	
付録6 デモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブル	
付録7 競技組合せ	
同意書	1通
システム等の調書	2通
課題・自由部門 プログラムソースリスト表紙例	1通
課題・自由部門 操作マニュアル表紙例	1通
競技部門 プログラムソースリスト表紙例	

## 1. 大会全般についての連絡事項（各部門共通）

### 1.1 主催・共催・後援・協賛・役員

主 催 高等専門学校連合会

共 催 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会

後 援 文部科学省 千葉県 千葉県教育委員会 木更津市 木更津市教育委員会 君津市 君津市教育委員会 富津市 富津市教育委員会 袖ヶ浦市 袖ヶ浦市教育委員会 木更津商工会議所 君津商工会議所 富津市商工会 袖ヶ浦市商工会 社団法人コンピュータソフトウェア協会 社団法人情報処理学会 社団法人電子情報通信学会 教育システム情報学会 独立行政法人情報通信研究機構 NHK 株式会社千葉日報社 木更津工業高等専門学校技術振興交流会 木更津工業高等専門学校後援会 木更津工業高等専門学校同窓会

特別協賛 東芝ソリューション(株) (株)インテリジェントウェイブ (株)神鋼エンジニアリング&メンテナンス スパイシーソフト(株) (株)トヨタコミュニケーションシステム ネットウェア(株) 富士通(株) (株)ブロードリーフ マイクロソフト(株)

一般協賛 アイフォーコム(株) (株)オプティム さくらインターネット(株) (株)CIJ セイコーエプソン(株) トヨタテクニカルディベロップメント(株) 日本 SGI(株) (株)BCN メガソフト(株) (株)ワコム

#### 大会役員

大会会長	高等専門学校連合会会長 冷水 佐 壽 (奈良工業高等専門学校長)
副会長	高等専門学校連合会副会長 黒 田 勝 彦 (神戸市立工業高等専門学校長)
副会長	高等専門学校連合会副会長 神 野 稔 (近畿大学工業高等専門学校長)
副会長	高等専門学校連合会理事 水 谷 惟 恭 (東京工業高等専門学校長)
副会長	高等専門学校連合会監事 赤 坂 裕 (鹿児島工業高等専門学校長)
副会長	第20回主管校校長 河 上 恭 雄 (木更津工業高等専門学校長)
副会長	NAPROCK 理事長 堀 内 征 治

### 1.2 事務局

大会事務局 独立行政法人 国立高等専門学校機構企画課内

委員会事務局 木更津工業高等専門学校学生課内

公式サイト <http://www.procon.gr.jp/>

### 1.3 参加者

予選において選抜された作品の制作学生及び指導教員

- 課題部門 20チーム
- 自由部門 20チーム
- 競技部門 59チーム
- 第1回NAPROCK国際プログラミングコンテスト 参加海外チーム 4ヶ国 6チーム
  - ハノイ国家大学 課題部門 1チーム、競技部門 1チーム
  - 大連東軟情報学院 課題部門 1チーム、競技部門 1チーム
  - モンゴル国立大学 課題部門 1チーム
  - 国立聯合大学 課題部門 1チーム

### 1.4 審査委員

審査委員長

神沼 靖子 情報処理学会フェロー

審査委員

臼井 支朗 理化学研究所 脳科学総合研究センター ニューロインフォマティクス  
技術開発チーム チームリーダー

梅村 恭司 豊橋技術科学大学 教授

遠藤 直樹 東芝ソリューション(株) 技術統括部 技監

大岩 元 帝京平成大学 教授

大山 堅司 (株)ブロードリーフ 代表取締役社長

木下 博行 富士通(株) 文教ソリューション事業本部プロジェクト統括部長

國枝 義敏 立命館大学 教授

斉藤 仁 マイクロソフト(株) デベロッパー&プラットホーム統括本部 アカデミックエバンジェリスト

高山 由 NPO法人ITジュニア育成交渉協会 理事長

田口 英美 (株)トヨタコミュニケーションシステム 取締役 ビジネスシステム本部  
本部長

豊田 崇克 ネクストウェア(株) 代表取締役社長

松澤 照男 北陸先端科学技術大学院大学 教授

松永 博之 (株)神鋼エンジニアリング&メンテナンス システムエンジニアリング部  
ソリューション開発室 室長

三上 繁実 NHK放送センター 放送技術局 報道技術センター ニュース・ネット  
ワーク部長

宮地 力 国立スポーツ科学センター スポーツ情報研究部 副主任研究員

山田 元康 スパイシーソフト(株) 代表取締役社長

山本 祥之 (株)インテリジェントウェイブ 代表取締役 社長執行役員

吉川 敏則 長岡技術科学大学 教授

久保 慎一 ネクストウェア(株)

津曲 潮 デザイン・クリエイション(株)

## 1.5 会場案内

本選会場：かずさアカデミアホール（千葉県木更津市かずさ鎌足2-3-9）

本選会場の主な施設名及び使用目的をお知らせします。詳細な会場案内については**付録1の会場案内図**または公式サイトをご覧ください。

1. 開会式・閉会式会場	メインホール
2. 自由部門プレゼン会場	201会議室A
3. 課題部門プレゼン会場	201会議室B
4. 自由部門デモ会場	201ホワイエ
5. 課題部門デモ会場	202ホワイエ
6. 競技部門会場	メインホール
7. プロコン委員会本部	101会議室
8. 選手・指導教員控室	202会議室
9. 審査委員室	102会議室
10. 企業展示会場	メインロビー
11. 大会本部（主管校事務局）	101会議室
12. 報道関係者控室	練習室
13. 来賓控室（文科省・市長・連合会関係）	特別応接室2
14. 高専関係者控室（他高専校長他）	特別応接室1
15. 木高専教職員控室	104会議室
16. 海外チーム控室	105会議室
17. 協賛企業控室	控室1，控室2，控室9，控室10， 106会議室，107会議室
18. 総合受付	メインロビー

## 1.6 日程

### 10月16日(金) 参加者受付

16:00～19:00

アクア木更津A館1階エントランスで受付を行います。

(受付場所は、「付録2 交通案内」をご覧ください。)

引率教員が受付を済ませ、名札、配付資料を受領してください。

提出物については、「1.7 提出書類 [2] 受付時提出書類」をご覧ください。

### 10月17日(土)

- やむを得ず前日に受付ができなかった参加チームの引率教員は、会場で受付を済ませてください。
- やむを得ず当日受付を希望するチームは、プロコン委員会事務局（「1.13 問い合わせ先」参照）に事前にご連絡ください。

	課題・自由部門	競技部門
7:00	8:00～8:30 参加者当日受付 (メインロビー)	
8:00	8:30～8:40 参加者連絡会議 (201ホワイエ)	8:40～9:00 参加者連絡会議 (メインホール)
9:00	8:40～9:15 システム搬入チェック	
9:30～10:00 開会式 (メインホール)		
10:00	10:10～17:00 プレゼンテーション審査 (自由部門：201会議室A) (課題部門：201会議室B)	10:10～13:00 予行演習 (メインホール)
11:00		
12:00		
13:00		
14:00	10:10～10:40 システムセッティング (201ホワイエ、202ホワイエ)  10:40～17:00 デモンストレーション 一般公開 (201ホワイエ、202ホワイエ)	14:00～17:30 1回戦 (メインホール)
15:00		
16:00		
17:00		
18:00	18:00～19:30 学生交流会 (202会議室)	
19:00	18:00～20:00 指導教員懇親会 (オークラアカデミアパークホテル 2階 有明の間)	

10月18日(日)

	課題・自由部門	競技部門
8:00	8:00～ 8:10 参加者連絡会議 (201ホワイエ) 8:10～ 8:40 システムセッティング 8:40～12:00 デモンストレーション審査・マニ ュアル審査 9:00～14:00 デモンストレーション 一般公開 (201ホワイエ、202ホワイエ)	8:00～ 8:20 参加者連絡会議 (メインホール)  8:30～14:00 敗者復活戦 準決勝 決勝 (メインホール)
9:00		
10:00		
11:00		
12:00		
13:00		
14:00	14:00～14:30 システム梱包・業者引き渡し	
	14:30～15:00 学生交流企画 特別講演 (メインホール)	
15:00	15:10～16:00 閉会式 (メインホール)	
16:00	16:00～17:00 プレス発表 (各部門上位2チーム)	

## 1.7 提出書類

### [1] 9月9日(水)必着分

予選後にご案内しましたとおり、次の2種類の書類を、平成21年9月2日(水)から9月9日(水)までの期間に、公式サイト上から提出してください。書類の提出方法については、この公式サイト「本選に関するオンライン化について」をご覧ください。

#### (1) パンフレット原稿

課題・自由部門の本選出場チームについては、本選時に配布するパンフレットの中に、発表要旨を掲載いたします。また、競技部門の本選出場チームは、同パンフレットの中にシステム概要を掲載いたします。公式サイトに掲載されている本選概要の執筆要項および見本を参考に原稿執筆の上、課題・自由部門の本選出場チームは「**発表要旨**」を、競技部門の本選出場チームは「**システム概要**」をそれぞれ提出してください。パンフレットの印刷の都合上、わずかの遅れも許されませんので、よろしくお祈いします。

#### (2) システム等の調書

調書は公式サイトからファイルをダウンロードして記入してください。特に、課題・自由部門の参加者は、会場の設営に必要ですので、表中の「ハードウェア構成」の欄に機種名・台数等をできるだけ詳しく記述してください。デモンストレーション会場においては、必要に応じてインターネット接続環境を準備します。詳細については公式サイトでお知らせします。

### [2] 受付時提出書類

課題・自由部門および競技部門の本選参加チームは、10月16日(金)の受付時に、下記書類を提出してください。作成にあたっては、下記のそれぞれの指示に従ってください。

規定外のものが提出されると失格となることがありますので十分に注意してください。

## 【各部門共通】

### 著作物等の扱いに係わる同意書（各部門1通）

- 「1. 14 著作物等の扱いについて」に記載した内容（著作物等の利用に関する許諾）について、各部門ごとに同意書を提出してください。
- 同意書は、公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。
- 同意書には、登録されている指導教員および学生が署名し、受付時に提出してください。

### プログラムソースリスト表紙および操作マニュアル表紙

- 表紙は、公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。

## 【課題・自由部門】

### （1）プログラムソースリスト（3部）

- A4用紙（縦置き横書き）に黒字で鮮明に印刷したものを提出してください。
- コピーでも可ですが、極端な縮小コピーはしないでください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、発表番号、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- ページ番号をつけてください。
- 2穴式のフラットファイルで綴じて、用紙が散逸しないようにしてください。
- ファイルの表紙と背表紙に部門名、発表番号、タイトル、学校名を明記してください。

### （2）操作マニュアル（4部）

- A4用紙（縦置き横書き）とし、鮮明に印刷したものを提出してください。
- コピーでも可ですが、極端な縮小コピーはしないでください。
- 起動から終了までのすべての手順を、わかりやすく記述してください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、発表番号、タイトル、学校名を明記してください。
- ページ番号をつけてください。
- 操作マニュアルは、本文10ページ以内で作成してください。
- 用紙の左上1個所を綴じてください。
- 本選では、このマニュアルを見て、はじめてシステムに接する人が実際に操作します。

## 【競技部門】

### プログラムソースリスト（1部）

- A4用紙（縦置き横書き）に黒色で鮮明に印刷したものを提出してください。
- コピーでも可ですが、極端な縮小コピーはしないでください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、登録番号、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- ページ番号をつけてください。
- 2穴式のフラットファイルで綴じ、用紙が散逸しないようにしてください。
- ファイルの表紙と背表紙に部門名、登録番号、タイトル名、学校名を明記してください。

## 1. 8 知的所有権について

作品の制作および発表にあたっては、知的所有権の侵害のないように十分にご注意ください。従来の例では、

- キャラクタの引用
- 既存の音楽の引用
- 文献からの無断転載

などがありました。制作にあたる学生は知的所有権についての理解が不十分と思われるので、指導教員はその点について十分にご指導くださいますようお願いいたします。

## 1. 9 表彰について

閉会式では、表彰が行われます。表彰では以下の各賞が授与されます。

課題部門	自由部門	競技部門
最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞	最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞	優勝 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞
優秀賞	優秀賞	準優勝
特別賞	特別賞	第三位
敢闘賞	敢闘賞	特別賞

- 課題・自由部門全チームの代表者、および競技部門入賞チームの各代表2名は、14時15分までにメインホール客席の指定座席に着席してください。
- 表彰の進行手順については閉会式の前に説明します。
- 本大会と同時に第1回NAPROCK国際プログラミングコンテスト (<http://www.naprok.jp/IntProcon/>)を開催します。海外からの参加チームを含めて優秀なチームには、以下の各賞が授与されます。
  - (1) 課題・自由部門 (各々) 国際最優秀賞 国際優秀賞 国際特別賞
  - (2) 競技部門 国際優勝 国際準優勝 国際特別賞
- 各部門上位2チームはプレス発表にご協力ください (10/18(日) 16:00-17:00)。

## 1.10 学生交流企画について

参加者の交流を促進するため、以下のような催しを行う予定です。

- 20周年記念一大スペクタクル!-ドキッ!?高専生だらけのクイズ大会 - 学生交流会で実施する予定です。
- 特別講演
- シール交換  
氏名、学校名を記載したシールを「名刺」として交換し交流を深めます。
- 体験「何色? サッと見 発見伝」-頭で考えよう!-  
競技部門の競技内容である「何色? サッと見 発見伝」の実物にチャレンジ!

## 1.11 会場使用上の注意点について

付録1に会場案内図を添付します。ご参照ください。

- 客席での飲食は禁止です。飲食は、選手・指導教員控室で済ませてください。
- 貴重品は、身に付けるなどして各自で管理してください。
- プレゼンテーション会場、デモンストレーション会場、競技会場、開・閉会式会場では、必ず携帯電話・PHSの電源を切るか、あるいはマナーモードに設定してください。

## 1.12 宿舎・昼食・学生交流会・指導教員懇親会および会場への交通

宿舎・弁当・学生交流会・指導教員懇親会・シャトルバスについての申込み期日は9月9日（水）です。別紙申込書（公式サイトからダウンロード可能）にて旅行代理店に申込み下さい。

### 宿舎

学生および引率教員の宿舎は木更津市内のホテルを予定しています。申し込んで頂いた宿舎がとれない場合もありますので、決まりしだい下記の旅行代理店からご連絡いたします。

### 昼食

昼食は、アカデミアパーク内ホテルのレストラン及びアカデミアホールの喫茶をご利用できます。また、コンビニは徒歩10分のところにあります。しかし、高価であったり混雑したりしますので、弁当の注文を受け付けます。当日は学校毎に受付にて配布します。メインホール（開閉会式、競技会場）での飲食は禁止です。

### 学生交流会

10月17日（土）の18:00～19:30、かずさアカデミアホール202会議室において学生交流会を開催いたします。参加費用は一人1,000円です（軽食付）。

### 指導教員懇親会

10月17日（土）の18:00～20:00、オークラアカデミアパークホテル2階有明の間において指導教員懇親会を開催いたします。参加費用は一人6,000円です。

### 参加者受付

本選前日（10月16日（金））は、「1.6 日程」で説明しましたように、16:00～19:00の時間に参加者受付を行います。木更津駅西口から受付会場（アクア木更津A館1階エントランス）までの経路につきましては、「付録2 交通案内（宿舎・シャトルバス発着所・受付）」をご覧ください。所要時間は徒歩3分程度です。

受付会場から宿舎までは、徒歩で5分～15分程度です。

### 木更津駅までの交通

- ① 飛行機をご利用の場合  
羽田空港から木更津駅行の高速バスに乗車、木更津駅にて下車 料金1,200円
- ② JRをご利用の場合  
東京駅から京葉線又は総武線で内房線木更津駅にて下車
- ③ 高速バスをご利用の場合  
東京駅八重洲口及び新宿・品川駅から高速バスをご利用になると便利です。料金は東京駅から1,500円、品川駅から1,300円、新宿駅からは1,500円です。

### 会場までの交通

- ① 東京方面からアカデミアパークへ直接行く場合は浜松町駅または東京駅から鴨川行に乗車、かずさパークで下車してください。料金は1,600円です。
- ② 本選期間中の2日間、プロコン事務局が用意した専用バスで会場と木更津駅東口間を往復できます。シャトルバスバスターミナルは「付録2 交通案内」を御覧下さい。このシャトルバスは、学校法人君津学園の協力のもとで運行しており、申込みをされた方（保険加入済）のみ乗車できます。旅行代理店より乗車券が配布されますので、乗車の際には係員にご呈示下さい。時刻については「付録2 交通案内」のとおりです。

- ③ 木更津駅から会場までのタクシーは、木更津駅東口より20分、料金は3,000円位です。  
④ 路線バスについては「付録2 交通案内」に時刻が掲載してあります。

これらの件に関するお問い合わせは、下記の旅行代理店担当者へ直接連絡してください。

近畿日本ツーリスト(株)千葉教育旅行支店  
「全国高等専門学校 第20回 プログラミングコンテスト」大会デスク  
(担当：重村)  
〒260-0013 千葉市中央区中央4-13-10 千葉県教育会館新館6F  
TEL：043-227-9401 FAX：043-222-9113  
営業時間：月～金 9:00～17:45 土日祝日は休業

### 1.13 問い合わせ先

本選実施要項及び本選に関する問い合わせは、下記へお願いします。

#### 問い合わせ先

〒292-0041 千葉県木更津市清見台東2-11-1  
木更津工業高等専門学校 プロコン委員会事務局 学生課学生係  
TEL：0438-30-4039 FAX：0438-98-5403  
E-mail：jimu20@procon.gr.jp

### 1.14 著作物等の扱いについて

提出していただいた資料、撮影した画像・ビデオ等の著作物については以下のように扱いますので、あらかじめご了承ください。もし支障がある場合には、プロコン委員会事務局へご連絡ください。

- 応募時に提出していただいた書類（作品紹介、応募内容ファイル）および9月9日(水)締切で提出していただくパンフレット原稿（発表要旨、システム概要）、操作マニュアルは公式サイトで公開する場合があります。
- 課題・自由部門のプレゼンテーションおよびデモンストレーションをビデオ撮影します。撮影したビデオおよびプレゼンテーション用データを高専の教材として使用する場合があります。
- 本選期間中、コンテストの様態や参加チーム毎のスナップ写真を撮影します。これらの画像はプロコン公式サイトで公開、およびプロコンパンフレット等に掲載する場合があります。
- 本選の様態・結果をインターネット経由で公開する予定です。

### 1.15 その他の注意事項

- テレビ・新聞・雑誌等の取材がある場合は、明るく活発な高専のイメージが出るよう、ご協力をお願いします。
- 本コンテストは、協賛いただいた企業やプロコン委員の先生方、主管校の教職員や学生等、多くの方々からのご支援を受けて開催されています。学生諸君は、感謝の気持ちを忘れないようにしてください。
- 参加学生の服装と身だしなみは、学生に相応しい清楚・質素なものとしてください。

## 2. 課題・自由部門についての連絡事項

### 2.1 システムの搬入・搬出について

- システムの搬送方法については、すでにご案内した通りです。参加校の最寄りのヤマト運輸の営業所から連絡があり、見積を依頼できますので、各校の実状に合わせてください。時期は、9月中旬の予定です。
- システム搬送中の破損事故を防止するため、担当業者と十分に相談してから、発送してください。梱包は依頼者側で行い、見易い位置に**梱包識別票**を必ず貼付してください。
- システムは業者によって、10月17日(土)の朝までにデモンストレーション会場(かずさアカデミアホール 2階ホワイエ)に搬入されます。参加チームは、搬入されたシステムの確認を、10月17日(土)の8:40よりデモンストレーション会場で行ってください。
- 搬出については、10月18日(日)の14:00~14:30の間にシステムを梱包の上、**梱包識別票**を貼付して、業者に引き渡してください。
- **梱包識別票**は、公式サイトからダウンロードできますので、ご利用ください。

### 2.2 プレゼンテーションについて

#### プレゼンテーション審査の概要

- システムの特徴や有用性、制作上のポイントなどの口頭発表を審査します。
- 発表は一人で行うものとします。
- 1テーマあたりの発表時間は8分とし、質疑応答を4分とします。8分を過ぎた時点で発表を停止し、直ちに質疑に移りますのでご注意ください。
- 機器は、パソコンの画面が表示可能なプロジェクタを使用できます。プロジェクタは640×480ドット(VGA)、800×600ドット(SVGA)、1024×768ドット(XGA)の解像度に対応可能です。接続推奨パソコンはPC/AT互換機で、接続可能なコネクタは「ミニD-SUB15pin」です。なお、スクリーンは1面のみ利用可能です。
- パソコン接続および操作は、発表チームの学生が行ってください。
- プレゼンテーションツールを使用する場合はナレーションを入れることは認めません。必ず口頭で説明を行ってください。ただし、発表全体の構成上必要と思われる場合は、適切な効果音の使用は認めます。
- 発表順序は主催者側で厳正に抽選した結果、7月1日(水)付けで送付しました予選通過テーマ一覧のようになりましたのでご了承ください。

#### プレゼンテーション審査のタイムテーブル

**付録3、付録4**にプレゼンテーション審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意のうえ遅れないように準備してください。

#### プレゼンテーション審査についての注意事項

- 発表があるセッションが始まる前に、各発表者は会場で待機してください。また、担当者の指示に従ってパソコンを起動し、すぐに発表できる投影状態にして待機してください。
- 司会者に名前を呼ばれたら、登壇してください。
- 発表は8分、質疑応答は4分です。予鈴は6分で1鈴、8分で2鈴、12分で3鈴、終了です。発表の途中であっても、8分を過ぎた時点で発表を打ち切り、直ちに質疑に移りますので注意してください。
- 審査委員の質問には、発表者だけが答えてください。
- ノートパソコンの操作要員として補助学生をつけても構いません。

## 2.3 デモンストレーションについて

### システム搬入チェック 【10/17(土) 8:40~9:15】

- 搬入された荷物は各ブースに置いてあります。
- 荷物の個数の確認と、外形上の損傷の有無を確認してください。

### システムセッティング【10/17(土) 10:10~10:40、10/18(日) 8:10~8:40】

- ブースの配置と展示スペースの概略寸法は**付録5**を参照してください。
- システムをセットする机の後ろには、掲示用パネルを用意します。このパネルにシステムの概要を示す概要説明図等を掲示してください。概要説明図の内容は自由ですが、システム名(タイトル名)と学校名を明示してください。なお、説明は一般の入場者にもわかりやすいように工夫してください。
- 各作品は、机や参加者の椅子なども含めて幅 200cm、奥行 200cm、高さ 220cm の範囲内にセッティングしてください。なお、机は幅 180cm、奥行は最大 120cm、高さ 70cm です。
- 掲示用パネルは幅 180cm、高さ 184cm、厚さ 6cm 程度の会場設備の衝立パネルを用意します。画鋲は使用してもかまいませんが、主催者では用意しません。必要に応じて各チームで用意してください。セロテープ等粘着性のあるものおよびネジがついた埋め込み式の止め具は使用できません。
- システム搬入に使用した“段ボール箱など”は、基本的に机の下に置いてください。納めきれない場合には、大会スタッフの指示に従って、所定の置き場に整理・整頓して納めてください。
- システムを置く机の下にコンセントを少なくとも1口は準備します。それ以上必要な場合はテーブルタップ等を準備してください。また、合計容量は約 500W です。容量オーバーによる停電等電氣的トラブルが発生しますと、大会に重大な影響がでますので、この電力を絶対に超えないようにしてください。
- 各ブースには必要に応じて、LAN ケーブルを1本用意します。
- システムの最終調整と、ブース内の整理整頓を行ってください。
- 一般公開とデモンストレーション審査に備えてください。

### デモンストレーション一般公開【10/17(土) 10:40~17:00、10/18(日) 9:00~14:00】

デモンストレーションは、学習や取り組みの成果を、学外の方々に公開する大きな意義があり、高専学生の熱気と創造性豊かなエネルギーを発表する場であることを十分に認識し、次の項目に沿って実施してください。

- 一般入場者にも、親切に分かりやすく説明してください。各テーマに精通した方や全くの素人の方、年輩の方や子供さんの見学が予想されます。相手に応じた説明を心がけてください。
- 一般公開は、プレゼンテーション審査、デモンストレーション審査およびマニュアル審査と並行して行います。
- 各ブースでの審査時は、一般公開での説明などを中断してください。
- 会場の各作品のブースには、説明者を常時2名以上配置してください。
- 昼食などは交代で取り、説明者が不在としないようにしてください。
- 情報交換の場として、積極的に利用してください。

### デモンストレーション審査【10/18(日) 8:40~12:00】

- 審査委員は、グループに分かれ巡回審査します。審査委員が審査に来られたら、システムを実行させ操作しながら説明してください。また、審査委員の質問にも答えてください。
- 審査時間は、説明時間が5分、質疑応答が2分、計7分以内です。
- 審査対象は課題・自由部門の全ての作品です。
- デモンストレーション審査は一般公開と並行して行われますが、審査を優先してください。審査には運営責任者としてプロコン委員1名が付きまます。

## マニュアル審査【10/18(日) 8:40~12:00】

提出した操作マニュアルどおりにシステムが動くかどうかのチェックを行います。

- 作品の審査時間は、移動を含めた7分間です。
- マニュアル審査は1名で行います。審査には運営責任者としてプロコン委員1名が付きまます。
- 審査対象は課題・自由部門の全作品です。
- マニュアル審査も一般公開と並行して行われますが、審査を優先とします。

## デモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブル

付録6にデモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意してください。

## システムの搬出【10/18(日) 14:00~14:30】

- デモシステムを梱包し、梱包識別票を貼付して各ブースの机の上に置いてください。
- 搬出のための梱包が完了した時点で、搬送業者に引き渡してください。輸送用ボックスの収納スペース以内であれば手荷物等の返送も自由ですが、業者と相談のうえ参加者の責任で依頼してください。
- “ごみの持ち帰り”や“忘れ物”には特に注意してください。
- 使用したブースの“後片付け”と“清掃”を実施してください。
- 梱包に必要な資材は参加者で準備してください。

## 2.4 本選審査手順について

### I. 各審査委員における評価

#### 1. プレゼンテーション審査：A, B, Cの3段階評価をします。

独創性（最重点）、システム開発の技術力（プログラムソースリストを含む）、記述力、発表能力、有用性等を総合して評価します。

#### 2. デモンストレーション審査：A, B, Cの3段階評価をします。

独創性（最重点）、技術力、有用性、操作性、発表能力、発表揭示、完成度等を総合して評価します。

#### 3. マニュアル審査：正確性・記述力に関してそれぞれ5段階、3段階の評価をします。

正確性：A : マニュアルどおりに動作する。

A' : マニュアルどおりに動作するが、説明を受けないと分かりにくい。

B : 一部マニュアルどおりに動作しない。

B' : マニュアルどおりに動作しない状態が何箇所かある。

C : マニュアルとして不備が目立つ。

記述力： A、B、Cの3段階評価（わかりやすさなど）

### II. 選考の流れ

#### 1. 評価一覧表の作成

一覧表に、各審査委員からの評価（A, B, C等）を入力します。

#### 2. 点数換算集計表の作成

プレゼンテーション、デモンストレーションの審査評価は下記のように換算します。

A = 6, B = 3, C = 1 ; 各部門, 審査委員の評価を合計します。

マニュアルの審査評価は下記のように換算します。

正確性に関しては, A = 7, A' = 5, B = 3, B' = 2, C = 1

記述力に関しては, A = 3, B = 2, C = 1

プレゼンテーション・デモンストレーション・マニュアルの評価を合計し総合得点とします。

### 3. 成績順位表の作成

総合得点の高い順にソートし、順位を算出します。

### 4. 選考の順序

以下の順序に従い、審査委員会で審議・合議の上、判断します。

#### (i) 最優秀賞、優秀賞

得点のみの情報を提示し、上位ノミネートチーム数を決定する。審査委員ごとに、上位ノミネートチームについて順位を投票用紙に記入する。上位票における審査委員数の獲得数で最優秀賞（文部科学大臣賞）、優秀賞を決定する（新增沢方式）。

#### (ii) 審査委員特別賞

(i) で最優秀、優秀に選ばれなかったチームから、課題部門・自由部門とも4チーム以内で選考する。

#### (iii) 佳作

佳作に該当する作品があるかどうか、審議する。

※ 残りの作品は敢闘賞となる。

【参考】 新增沢方式 (<http://www2s.biglobe.ne.jp/~MUNYS/gauss/ gauss.html> より)

### 3. 競技部門についての連絡事項

#### 3.1 組合せ

1 回戦の組合せは、審査委員に厳正にマジックナンバーを決めていただき、それを種としたコンピュータの擬似乱数により決定しました。審査委員に決めていただいたマジックナンバーは6でした。決定した組合せは「付録7 競技組合せ」の通りです。

#### 3.2 競技進行の概要

- 競技は、1 回戦 8 試合、敗者復活戦 6 試合、準決勝 4 試合、決勝 1 試合により行います。
- 1 回戦は10月17日、敗者復活戦・準決勝・決勝は10月18日に行います。

#### 3.3 競技部門の賞

- 決勝戦での成績により、高専プロコン競技部門の優勝(文部科学大臣賞)、準優勝、第3位を決定します。
- 応募書類、提出書類および競技内容から特別賞を選考します。選考方法は競技の順位によらず、アイデア・技術力・完成度をパンフレットに記載されたシステム概要を含めて評価するものです。
- 国際大会の成績は、海外チームを含めた決勝戦での順位により決定します。

#### 3.4 予行演習

競技に先立って予行演習を行います。全チーム参加してください。

日時：10月17日(土)10:10~13:00(予行演習は試合時間を5分間に短縮します)

会場：競技会場

予行演習のスケジュール等は競技部門参加者連絡会議(10月17日 8:40~9:00, 競技会場)で連絡します。

#### 3.5 注意事項

- 付録7の組合せにあるように、1つの対戦は最大8チームです。予行演習も最大8チームとなります。
- 準決勝からは国際大会となり、海外チームが参加します。1回戦には海外チームがオープン参加することがありますが、成績には関係ありません。
- 各ブースには、電源コンセントを1口(ブースあたり最大150W)用意します。
- その他、今後の追加情報等については、随時プロコン公式サイトに掲載します。必ず確認するようにしてください。

#### 3.6 質問受付

プロコン公式サイト(<http://www.procon.gr.jp/>)から参照できる第20回大会のサイトには、8月17日現在、次の情報が公開されています。

- 部門のご案内「競技部門のご案内」、「競技部門追加情報」

- FAQ「競技部門」

以上の内容を確認された上で不明な点がある場合は、9月1日(火)17:00まで質問を受け付けますので、プロコン委員会事務局の下記メールアドレスまでお問い合わせください。お問い合わせの回答はプロコン公式サイトで逐次公開しますので、ご参照ください。

問い合わせメールアドレス： [kyougi20@procon.gr.jp](mailto:kyougi20@procon.gr.jp)

- 質問に際しては、質問者の高専名、所属、氏名を明記してください。
- 質問は公開されることを念頭においてください。競技の勝敗を左右するようなアイデアでも公開します。